

全日本民医連第43期第2回評議員会

4つの重点課題を提起

「何のために、誰のために、誰とともに」

全日本民医連は、第43期第2回評議員会を2月16、17日に開催し、評議員会方針を決定しました。同...

選挙を通じて、憲法、平和、人権を守り抜こう

第1は、7月の参議院選挙で今の異常な政治を変えよう、安倍政権による9条改憲をストップさせようという呼びかけです。

今回の方針では第3章で4つの重点課題が提起されています。憲法25条は、命を守る憲法の両輪です。

権利を行使する最大の機会です。4月のいっせい地方選挙、7月の参議院選挙、ともに「社会の主体者の一人」として参加しましょう。

共同のいとなみを基軸にした「3つの柱」の実践でまちづくりに参加しよう

第2に、医療・介護活動をまちづくりと結びつけて旺盛にとりこむことや、医療・介護活動の2つの柱

私たちのめざす2020年の同仁会
●無差別・平等をかかげ、いのちと人権を守る保健・医療・福祉と健康づくりをすすめている。



第4は、「民医連の綱領と歴史」の学習討議で

第43期定期総会スローガン

- 憲法をまもり生かす国民的運動に参加し、人権、民主主義が輝く平和な未来を切り拓こう
●社会保障の営利・市場化に反対し、共同組織とともに、住民本位の地方自治の発展、安心して住み続けられるまちづくりを進めよう

民医連の医師と医師集団の課題を全職員、共同組織の課題に

第3は、「未来に向かって民医連の医師と医師集団は何を大切にするのか(案)」を力に、医師の確保と養成の前進について県連、法人、事業所での議論と前進を提起しています。



第43回総会からの折り返し点として

日々、現場では業務に追われ、多忙な日常が過ぎていきます。民医連の評議員会方針は、そんな私たちに「私たちは、何のために、誰のために、誰とともに頑張るか」を気づかせてくれる存在です。

シリーズ 現場からの視点 その45

今年に入り、麻疹の感染拡大が話題になりました。大阪市内ではあべのハルカスの従業員や利用客から広がり、大阪府は日本全国で患者数が第一位になり、毎日のようにニュースが流れました。

予防接種は家族や周りの人の健康を守ります

麻疹や風疹の予防で最も効果があるのは予防接種です。予防接種には、2つの役割があり、1つは予防接種を受けた人が病気にかからない(または重症にならない)こと、2つ目はより多くの人が予防接種を受けることで、集団のなかに感染した人がいても大きな流行にならないことです。

※予防接種は、法律に基づく無料の定期接種と、希望者がうける有料の任意接種があります。
●任意接種をご希望の友の会会員の方は、同仁会の事業所で友の会の割引価格で受けることができます。